

2023年5月12日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
 (コード番号 6740 東証プライム)
 問合せ先 執行役員 CFO 坂口 陽彦
 (TEL. 03-6732-8100)

2023年3月期連結業績予想と実績の差異並びに特別利益及び特別損失計上のお知らせ

2023年2月10日に発表いたしました2023年3月期第4四半期(以下「当第4四半期」と言います。)及び通期の連結業績予想と、本日発表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、当第4四半期において特別利益(債務免除益)並びに特別損失(減損損失及び事業構造改善費用)を計上いたしましたので併せてお知らせいたします

1. 2023年3月期第4四半期及び通期連結業績予想と実績の差異

(1) 当第4四半期会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,000	△23,100	△24,900	△25,400	△14,500	
実績値 (B)	62,714	△20,196	△22,006	△21,936	△8,433	△1.77
増減額 (B-A)	+4,714	+2,904	+2,894	+3,464	+6,067	
増減率 (%)	+8.1%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第4四半期)	86,427	3,850	1,540	2,109	△1,765	△0.40

(2) 通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	266,000	△39,100	△47,300	△46,400	△31,900	△6.74
実績値 (B)	270,746	△36,198	△44,386	△42,924	△25,818	△5.46
増減額 (B-A)	+4,746	+2,902	+2,914	+3,476	+6,082	
増減率 (%)	+1.8%	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	295,946	161	△8,576	△7,964	△8,096	△2.08

(3) 差異の理由

売上高は、民生機器向けディスプレイの販売が保守的な予想から上振れたことにより、前回予想を上回りました。売上高の上振れ及び固定費圧縮により、EBITDA、営業利益、経常利益も前回予想から改善いたしました。また、親会社株主に帰属する四半期及び当期純利益につきましては、上記理由に加え、東浦工場の生産停止に係る見込費用が下振れたことにより、前回予想から改善いたしました。

2023年3月期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期通期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

2. 連結及び個別決算における特別利益及び特別損失の計上

(1) 特別利益の計上

債務免除益

2023年2月10日付で当社がIchigo Trustと締結した資金調達に関する追加資本提携契約に基づき、Ichigo Trustが2023年2月27日時点で有していた当社に対する貸付金債権のうち15,000百万円を放棄したことに伴い、同額の債務免除益を当第4四半期の連結決算及び個別決算において特別利益に計上いたしました。

(2) 特別損失の計上

① 減損損失

生産設備の一部につき「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第4四半期の連結決算及び個別決算において833百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

これにより、2023年3月期の減損損失の累計は、連結決算及び個別決算において2,803百万円となりました。

② 事業構造改善費用

2023年3月の東浦工場の生産終了及び譲渡契約の締結に伴う見込費用について、当第4四半期連結の連結決算及び個別決算において、それぞれ610百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。

これにより、2023年3月期の事業構造改善費用の累計は、連結決算において合計5,884百万円、個別決算において合計2,329百万円となりました。

以 上